

だっこするよ

平成29年3月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 東京都北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



これからも 愛情のなかで 育てます

三寒四温を繰り返しながら、段々と春が近づいてきています。2月「おおきくなったねの会」には沢山の皆様にご参加くださり本当に有難うございました。あれから園内のあちこちで「発表会ごっこ」が始まっています。表現遊びが大好きになりました。園庭でも小さなお友だちに名前を聞いてインタビューごっこも上手です。曲が流れるとみんなで踊り始め、小さなお友だちも真似してとても微笑ましいです。発表会ごっこが続いているのは、仲間と楽しさを共有したいから、みんながいると楽しい！と心から感じているのだと思います。みんなで育ち合う保育園、そして、こどもたちの「大好き」を増やせる場にしていきたいと思えます。

「幼児期の終わりまでに育てたい力とは？」と元立教女学院短期大学教授今井和子氏の講演会にて。「何が出来ることではなくて、自分の未来の成長になることを好きになることその好きを見つけられるこどもへ育てることが保育園の役割であると。乳幼児期の教育は遊びが大切、遊びこそ自分の好きなことへ最大限自分を発揮し自分育てをする力が生まれます。これからはAI（人工知能）が活躍する時代になり、今までやってきた仕事の半分がAIに代わると言われ、営業、事務、運転手、すべてAIに代わり、その時代にこどもたちがどのような生き方をするのか大切です。創造、イメージ、状況判断、推論が苦手で、俳優、保育士、ケアマネ、心理カウンセラー、教師などの職業はAIに代われない仕事だといわれます。「人間にとって最も大事なことは好きな仕事を追及する力ではないか、理屈抜きに心が惹きつけられること夢中になれることを見つけられるように育てることが私たちの役割だ。」と熱く語られました。一人1台のAIと共存する未来も近いかもしれません。しかし、便利な未来であっても「Well-being」自分で幸せな人生を創造できる、自分を耕す人に育てたい。こどもたちは、常に遊びながら脳を働かせ、心身を鍛え、体験から知識を増やし、自分から殻を割るように日々成長しています。人との交じりが大好き、遊びが大好き、動くことが大好きです。健康な生活が過ごせるように安心安全な環境（ヒト・物・コト）を整えることが私共の責任だと考えます。

24日、ほし組「就学祝いの会」を迎えます。私たちの宝、地域の宝、社会の宝であるこどもたち30名の旅立ちを心より祝福したいと思います。28年度の大きな保育環境の変化にも負けずに元気に逞しくそして優しく育ってくれました。私たちにとって初めての卒園生です。小さなお友だちと散歩や歌や遊びのプレゼントをしてくれる優しいお兄さんお姉さんです。卒園までみんなで大切に過ごしていきます。

指定管理運営になり、この一年、保護者の皆様には、職員一同未熟なことも多く、不快な思いをさせてしまったり、ご心配を多々おかけしました。しかし、それをいつも温かい眼差しで見守っていただきました。沢山のご協力をいただきながら、一年を過ごすことが出来、こどもたち、保護者の皆様にご心より深く感謝申し上げます。「こども一人ひとりを大切にこどものための保育園へ」の方針通り、これからも愛情がこどもたちに見え、伝わる保育・安心安全の食べたくなる給食・自分のことが自分で出来る自立・自律支援へと保育を前に進めて参ります。一年間、本当に有難うございました。写真はほし組清水坂公園にて「春 走る・走る」